50th Anniversary

稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年（1963 年）12 月 6 日　会長：岡田義夫／副会長：三輪卓生
例会日：毎週水曜日　12：30～13：30　幹事：永井伸治／編集：広報会報委員会
例会場：尾張大國霊神社（国府宮）　E-mail　rcinazawa@gmail.com
稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号　URL　http://www.inazawa-rc.org/
事務所：〒492-8213　稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）
電　話：0587-24-0740　FAX：0587-22-7213　事務局携帯電話　090-4853-5262

2013-2014 ＲＩ会長
ロンＤ・バートン

ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

稲沢 RC2013～2014 年度会長方針
社会を光り輝かせる人となろう！

本日の例会プログラム　第 2470 回例会　4 月 30 日（水）例会場：尾張大國霊神社
卓話：稲沢警察署　署長　鈴木努　様　　ﾃｰﾏ「安心して暮らせる街づくり」
紹介者：ニコボックス委員長　山田典永　　50 周年記念事業委員会総務委員会（13：30）

第 2469 回例会報告 4 月 23 日(水) 晴れ No.40

☆点　鐘☆	会長　岡田義夫
☆司　会☆	会場委員長　三根健一
☆唱　和☆	
☆ビジター☆	水谷豊君（尾西 RC）
☆会長挨拶☆	会長　岡田義夫

春の陽射しが眩しく、汗ばむほどの日和となりました。辺りを見渡せば、田んぼは耕され田植え間近というところでしょうか。私達の住む稲沢市は、古くから光と水、そして豊かな土壌に恵まれた濃尾平野の中心に位置します。災害も少なく、作物の収穫もほぼ期待通りの結果をもたらしてくれる豊かな地域かと思います。しかし、それは過去の話となりつつあります。私の住まいの近隣を見廻しても、専業農家は個数全体の一割にも満たず片手に余る程です。専業農家は旧態依然とした農法をかたくなに続けられ、兼業農家のほぼ全ての方は、田んぼの管理米作りは、請け負い業者頼みというのが実態かと思います。

本日、ｱﾒﾘｶから大統領として 18 年ぶりにｵﾊﾞﾏ大統領が国賓として来日されます。日中韓、日米防衛協力のための指針の確認、そして最大の目的かと思われる TPP の妥結、その他様々な問題の解決を目的として来日される事と思います。その中で、TPP の問題を捉えて過去に遡りますと、ｳﾙｸﾞｱｲﾗｳﾝﾄﾞという協定を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか？その折には 6 年間に 6 兆円もの補助金が農家にばら撒かれました。また、先の民主党政権の折には、食料自給率向上と称して、毎年 8.000 億円をこめ農家に補助金が配られています。この上 TPP で安い米が輸入される事となれば、ｺﾒ農家への補助金無しではｺﾒ農家が消えていってしまうのではないでしょうか？

先のｳﾙｸﾞｱｲﾗｳﾝﾄﾞ以降、国内には埼玉県一県に匹敵する面積の耕作放棄地が生まれたそうです。その放棄地はｳﾙｸﾞｱｲﾗｳﾝﾄﾞの影響で出来たのか、ｺﾒ農家への補助金の在り方で生まれたのか、よく検証する必要が有ると思います。私個人としては、敗戦後ｱﾒﾘｶ統治下に農地解放が実施され、日本の農業、米作りのﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄが細分化されてから今日、農業の国際的なﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの在り方に対して耕作放棄地の、そして米作りに労を尽くさない地主の皆さんの気持ちの切り替えこそが、日本の米作りの新たなｽﾀｰﾄの時を迎える今、一番重要なﾎﾟｲﾝﾄではないかと考えます。補助金を得るための米作り農家では無く、日本の主食を支える農家として、誇りを持って TPP と向かい合って頂きたいと思います。

★出席報告★　報告者：会員組織委員長　小島洋一

会員総数	55 名	前々回修正	4 月　9 日
出席会員数	34 名（内免除者　8　名）	出席会員数	34 名（内免除者　10　名）
欠席者数	21 名（内免除者　7　名）	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	11 名
出席率	70.83 ％	修正出席率	90.00 ％

☆ 例 会 臨 時 変 更 通 知 ☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
一宮中央	6/18(水)18：00	一宮商工会議所
名古屋北	6/20(金)12：30	名古屋東急ホテル
名古屋清須	6/24(火)12：30	名古屋ﾏﾘｵｯﾄｱｿｼｱﾎﾃﾙ
名古屋城北	6/24(火)12：30	名古屋栄東急イン

今週のメークアップ	樋田克史（尾西）、浅井耕治、横井定（D2760）、酒井兼利、小島洋一、原武史、加藤健司、三輪卓生（B.D）山脇敏夫、林茂夫（C.O.M）、山田典永（名古屋瑞穂）

☆ 例 会 日 程 ☆

5 月 7 日(水)12：30	5 月 14 日(水)12：30	5 月 18 日(日)	5 月 21 日(水)
幸福例会・会員表彰 第１１回理事会（13：30）	卓話：ﾛｰﾀﾘｰ財団　資金管理委員会委員長　櫻井繁　様 ﾃｰﾏ未定（財団の補助金関係） 紹介者：社会奉仕委員長　服部孝徳	春の家族会 「近江八幡水郷巡りと招福楼のお料理を楽しむ」 稲沢市役所発　8：00 祖父江支所発　8：15	例会変更 （5 月 18 日へ振替） IAC 例会（17：00）

また、年間8.000億円もの血税を、米作り合理化の為の機材、施設を現物給付されたらどれだけ効率的に安く、美味しいお米作りが出来るかとも考えます。

最後に、日本の美味しいお米作りに精を出して下さっている、米作り農家の方々が真に報われる政策の構築を願い、更にはたくましくTPPに挑戦して頂く事を期待して、会長挨拶とさせて頂きます。

～Today's Information～ ◆◆報告事項◆◆

◇◇幹 事 報 告◇◇ 報告者：幹事 永井伸治

◆地区ロータリー研究会開催のお知らせ
開催日：2014年6月11日(水)　本会議 15：30～
懇親会 18：05～
開催場所：名古屋国際ホテル　2F　宴会場
名古屋市中区錦3-23-3　☎052-961-3111
演題：私案ロータリーの綱領　ﾊﾟｽﾄｶﾞﾊﾞﾅｰ　片山主水　氏
職業奉仕の原点　RI2680地区ﾊﾟｽﾄｶﾞﾊﾞﾅｰ深川純一　氏
登録料：10,000円
2015-16年度会長・幹事、及び2014-15年度職業奉仕委員長はご出席願います。
有志の方々のご出席もお願い致します。
お申込みは、5月9日（金）までに事務局へお願いします

◆第2760地区第4回フォト俳句展のお知らせ
開催日：平成26年6月22日(日)～29日（日）
場　所：フォトサロン「サン・ルゥ」
名古屋市中区新栄町2-4　ｱｰﾁﾋﾞﾙ2F
参加対象：第2760地区各ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ会員及びその家族
参加締切：5月23日（金）
参加費用：出展1点につき8,000円
☆参加ご希望の方は詳細を事務局よりお渡し致します

◆5月7日(水)例会後に第11回理事会を開催致します。
役員・理事の皆様はご出席願います。

◆2014年5月のロータリーレートは1ﾄﾞﾙ＝102円です

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇

報告者：ニコボックス副委員長　鵜飼博信

水谷豊君（尾西RC）　敬愛する岡田会長に久しぶりに会えて幸せです
岡田　ｽﾋﾟｰｶｰに稲沢市役所秘書広報課　渡辺ﾘｰﾀﾞｰ、大平主査をお迎えする喜び
永井　卓話ｽﾋﾟｰｶｰに稲沢市秘書広報課　渡辺様、大平様をお迎えした喜び
川合　卓話に秘書広報課渡辺様、大平様を紹介できる喜び
鈴木　渡辺様、大平様、本日はよろしくお願い致します
永井　尾西RC水谷豊様の来訪を心より歓迎します
成田　尾西RCより水谷さんをお迎えして
川合　本日結婚満25年を迎えられました。(25年後は78歳、祖父も父も金婚式は迎えられませんでした)
(ﾆｺﾎﾞｯｸｽ委員長より：多額に頂きありがとうございました)
橋本　美術展に写真を出させて頂きました
樋田(ﾄｲﾀﾞ)　土曜日、ﾗｳﾞｨｰﾅ、ｻｰﾃｨが皆様にお世話になりました。まず朝、西村さんに撮影で、その後林さんにお昼を、夕方から岡田さんに慰安会のｲﾍﾞﾝﾄにと一日ﾛｰﾀﾘｰ三昧でありがとうございました
西村　樋田（ﾄｲﾀﾞ）さん、ﾗｳﾞｨｰﾅご苦労様でした
永井　川合さんご夫妻と楽しいひとときを過ごせた喜び
川合　永井ファミリーに大変お世話になりました
川合　母が池田さん原さん鵜飼(正)さんにお世話になりました
岡田　来週の例会お休みさせていただきます
樋田(ﾋﾀﾞ)、栗本、加藤(健)、足立　早退のお詫び

◇◇卓話スピーカー　愛知県稲沢警察署 署　長　鈴木努様　プロフィール◇◇

生年月日：昭和32年3月7日（57歳）
出身地：愛知県新城市
住所：丹羽郡扶桑町。現在は稲沢署敷地内の公舎暮らし
趣　味：日曜大工や模型工作、バイクなど
略　歴：大学卒業後、愛知県警察官として採用され、警察学校での教養を終えて、昭和54年9月、豊田警察署を振り出しに交通機動隊、瑞穂署、警察本部警務課、北署などで勤務。今年35年目となります。

一昨年秋、稲沢署に初めて赴任しました。尾張部では一宮署の副署長で勤務したことがあります。
一宮と比べると住民の権利意識等の面でずいぶん違うと感じており、住民の協力も得られるので仕事がやりやすくその点でも感謝しています。

◇◇卓話：稲沢市秘書広報課　主査　大平光生様 テーマ「稲沢広報誌あれこれ」◇◇

昨年まで毎月２回発行されていた「広報いなざわ」は、今年から毎月１回の発行となり、それに伴う広報担当者の苦労話や、広報を作成するにあたって工夫を凝らしてしている点などについてのお話しさせていただきます。「広報いなざわ」は、昨年までとは大きく２つの点で変わりました。

１点目は、表紙と裏表紙がｶﾗｰ印刷になったことです。広報誌は、皆さんが手に取って、見てくださらないことには始まりません。ｲﾝﾊﾟｸﾄのある表紙を作るために人の目を引く写真を撮り、季節感のある色使いにするよう心がけています。ただ、広報誌の製作期間は、原稿の締め切りから完成まで１カ月以上掛かってしまうため、撮った写真をすぐに広報誌の表紙にすることができません。やむを得ないこととはいえ、残念に思われることです。

２点目は「市政ﾆｭｰｽ」「いなッピーお出掛け情報」「稲沢の文化財」といった新ｺｰﾅｰを設けたことです。「市政ﾆｭｰｽ」では、現在市が行っている事業の最新情報を紹介することを目的としています。また、「いなッピーお出掛け情報」と「稲沢の文化財」では、ｴﾝﾀﾒ的なもの、読み物的なものを載せることで、難くなりがちな広報誌の内容にｱｸｾﾝﾄを持たせています。

中でも広報担当者が最も苦心している点は、広報誌の紙面削減です。紙面の削減は、直接経費の削減につながります。また、広報誌全体の軽量化も図ることができますので、広報誌を各家庭に配布してくださる方の肉体的な労力も軽減されます。削減ﾍﾟｰｼﾞは、昨年までと比べ、１カ月当たり9ﾍﾟｰｼﾞを目標としています。文章表現を変えたり、必要以上の啓発記事を割愛したりして、記事のｽﾘﾑ化を図っています。このあたりが、広報担当者としての腕の見せ所でもあります。

広報誌には、制度の新設や変更、各種手続きなど、皆さんにはぜひ知っておいていただきたい重要なお知らせが載っています。必ず一度は満遍なく目を通していただきたいと思っております。